

ちょっと気になるデータ

就業の状況

—第14回中高年者縦断調査の結果から—

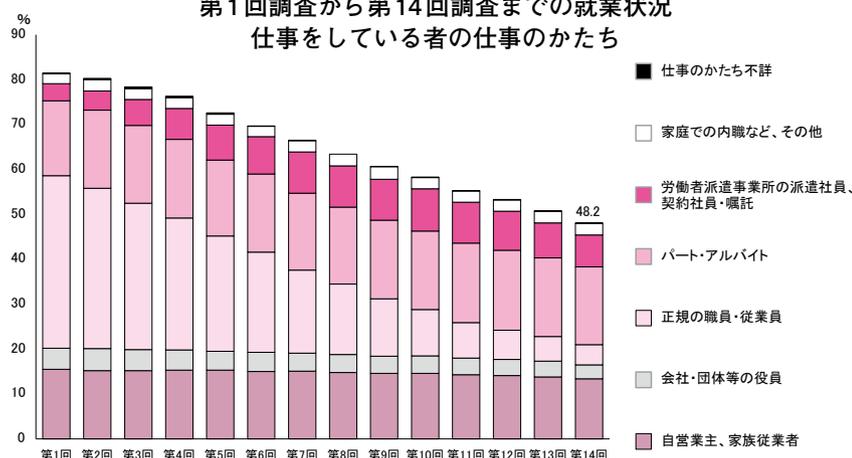
2019年11月に、厚生労働省から「第14回中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)」の結果が公表された。この調査は、同じ集団(平成17年10月末に50～59歳であった全国の中高年者世代の男女)を対象に毎年継続的に実施されているもので、第14回調査では調査対象者の年齢は63～72歳となっている。調査結果^{注1}のうち、就業状況の結果について紹介する。

第14回調査では、「仕事をしている」者の割合が48.2%、「仕事をしていない」が51.5%となっている。「仕事をしている」者について就業状況を見ると、「パート・アルバイト」が17.3%^{注2}と最も高く、次いで「自営業主、家族従業者」が13.4%、「労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託」が7.1%などとなっている。「正規の職員・従業員」は4.5%となっている。男女別にみると男性では「仕事をしている」は59.2%で、「自営業主、家族従業者」

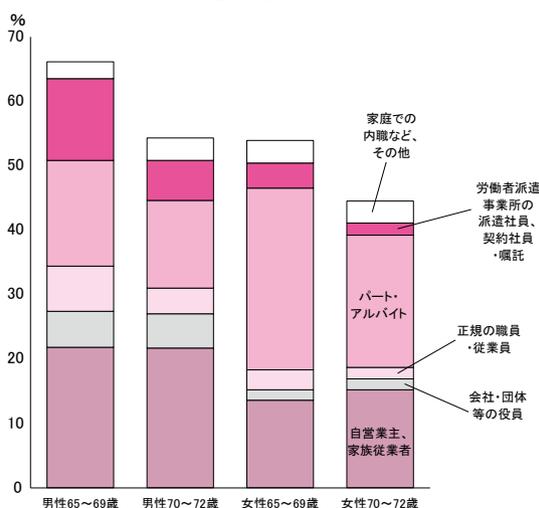
業者」が18.1%、「パート・アルバイト」が13.9%、女性では「仕事をしている」は39.0%で、「パート・アルバイト」が20.1%、「自営業主、家族従業者」が9.5%などとなっている。

第1回調査から第14回調査までの「仕事をしている」者の就業状況を見ると、「正規の職員・従業員」の割合は第1回(38.4%)から第14回(4.5%)まで

第1回調査から第14回調査までの就業状況
仕事をしている者の仕事のかたち



第1回調査で「65歳以降仕事をしたい」とした者のうち第14回調査で仕事をしている者(65歳以上)



減少している。「パート・アルバイト」はおおむね横ばいとなっている。

次に、第14回調査で65歳以上の者のうち、第1回調査時に「65歳以降仕事をしたい」と答えた者について、第14回調査で「仕事をしている」者の割合を見ると、男性の「65～69歳」で66.2%、「70～72歳」で54.5%、女性の「65～69歳」で54.1%、「70～72歳」で44.8%となっている。「仕事をしている」者の仕事のかたちをみると、男性では「自営業主、家族従業者」が最も高く(65～69歳21.8%、70～72歳21.7%)、女性では「パート・アルバイト」が最も高くなっている(同28.2%、同20.5%)。

注1 第14回調査は、平成17年度の第1回調査から協力が得られた18,213人について集計されている。

注2 仕事をしている者の仕事のかたち。総数(18,213人)に占める割合。以下同じ。

(調査部 統計解析担当)